就学前児童票（案）

5.　すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問13　この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

1.　ある　→　年間 □□ 日

（理由別）

① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的　□□ 日

② 冠婚葬祭、子どもの親の病気　□□ 日

③ 就労　□□ 日

2.　ない

一時預かりの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問13の「1.」の日数で家族類型別の利用実態を把握。潜在ニーズは、問14で回答した人の日数。

問14　今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に □ 日くらい

6.　すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問15　この１年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1.　あった（預け先が見つからなかった場合を含む）　（→　問15-1,2へ）

2.　なかった　（→　問16へ）

ショートスティの推計ニーズ量の算出のための項目。
ショートスティを必要とした場合の対処方法及び日数、親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたっての優先順位をつける際に活用。

問15-1　この１年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問15-2　その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。）

1.（同居者を含む）親族・知人に預けた	□□ 泊 →	1.非常に困難	2.どちらかというと困難	3.特に困難ではない
2. 保育サービス（※右下注）を利用した	□□ 泊			
3. 仕方なく子どもも同行させた	□□ 泊			
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊			
5. その他（　　）	□□ 泊			

※ショートスティ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

7.　来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします。

問16　宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。
【放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。】

当該自治体における就学前児童のサービスニーズと就学児童のサービスニーズの差を把握するために活用

1.　利用したい　→ 週 □ 日くらい

2.　利用予定はない